

# 平成29年台風第21号による浸水被害解消に向けた対策

H30.8.10

## ～第3回市田川大規模内水対策部会開催～

～紀南河川国道事務所～

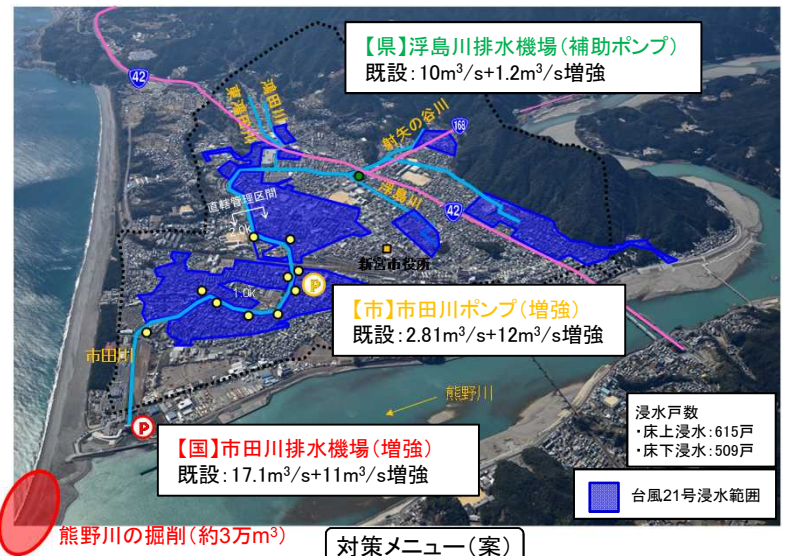
平成29年10月の台風第21号によって市田川沿川で発生した内水被害を受け、発生要因や今後の対策を立案するため熊野川減災協議会に市田川大規模内水対策部会を平成30年1月に設置しました。

前回までの部会では、台風第21号による内水浸水の要因の分析結果が報告され、各機関が直ちに取りかかる対策について議論しました。

第3回部会では、台風第21号による浸水被害の解消に向け、各機関が実施する対策を議論しました。

### 第3回部会の概要

- 日時：平成30年 8月10日(金) 10:00～11:00
- 場所：新宮市役所
- 委員：新宮市長、和歌山県県土整備部長  
和歌山地方気象台長、紀南河川国道事務所長



### 第3回部会での主な確認事項

① 平成29年10月台風第21号による浸水被害は、熊野川と市田川のピーク水位が重なったこと等により、市田川の著しい水位上昇が生じ、これに伴い市街地の排水不良等が生じた。

② 市田川流域大規模浸水対策計画の目標は、国、和歌山県、新宮市が連携し、平成29年台風第21号の浸水を解消すること。

③ 対策の内容

- 市田川の水位を下げることを目的とした熊野川掘削、市田川排水機場ポンプ増強の整備
- 浮島川の円滑な排水を目的とした浮島川排水機場補助ポンプの増強等の推進
- 新宮市街地の雨水排水能力の向上を目的とした排水ポンプ増強等の整備及び流域対策等

③ 対策メニュー

国土交通省: 熊野川掘削及び排水機場ポンプ増強 11m³/s(合計28.1m³/s)

和歌山県 : 排水機場ポンプ増強 1.2m³/s(合計11.2m³/s)

新宮市 : 排水ポンプ増強 短期2.49m³/s(合計5.3m³/s)、長期9.5m³/s(合計14.8m³/s)

都市下水路改修、雨水貯留施設整備、タイムラインの確実な運用 等

【問合せ】国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所 調査課  
〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142 TEL 0739-22-4564(代表)

水防災意識社会  
再構築ビジョン

